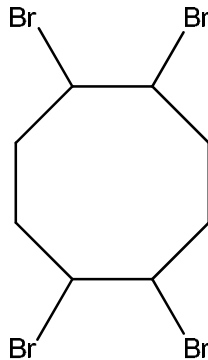


反復投与毒性・生殖発生毒性併合試験(OECD TG422)データシート

官報公示 整理番号	3-2254	CAS No.	3194-57-8
名称 構造式等	名 称：1, 2, 5, 6 - テトラブロモシクロオクタン 別 名：1,2,5,6-Tetrabromocyclooctane Cyclooctane, 1,2,5,6-tetrabromo- 分子量：427.80 分子式：C ₈ H ₁₂ Br ₄ 構造式： <div></div>		
外観	白色粉末		
溶解度	0.347 μg/L(25 水) アルコールに微溶, ジクロロメタン, トルエン, N,N-ジメチルホルムアミドに可溶		
分解性	難分解性 (経済産業広報 平成 17 年 12 月 22 日公表)		
蓄積性	低濃縮性 (経済産業広報 平成 20 年 8 月 12 日公表)		
純度	> 99.8 %		
用量設定 試験	投与用量	0, 25, 250, 500, 1000 mg/kg/day	
	投与期間	14 日間	
	主な結果	1000：腎臓の表面点状模様明瞭化() 500：腎臓の表面点状模様明瞭化() 250：腎臓の表面点状模様明瞭化()	
	反復経口投与毒性・生殖発生毒性併合試験 (ReproTox)		
投与	使用動物	CrI:CD (SD)ラット, 投与開始時 9 週齢	
	投与方法	強制経口投与 溶媒：5.0 w/v%アラビアゴム水溶液	
	投与用量	0, 40, 200, 1000 mg/kg/day, 回復群 0, 1000 mg/kg/day (R1000)	
	投与期間	42 日間, 42 – 48 日間(哺育 4 日まで)	
反復投与 毒性 主な結果	一般状態	影響なし	
	行動機能 観察	影響なし	
	体重	影響なし	
	摂餌量	：摂餌量(回復 3 日) (R1000) ：摂餌量(7 日・14 日・21 日) ・(哺育 4 日) (1000), 摂餌量(回復 4 日) (R1000)	
	尿	-	
	血液学	影響なし	
	生化学	：TP (200, 1000), Alb (1000) ：TP (200, 1000), Alb (200, 1000)	
	臓器重量	：肝臓 g・% (200, 1000) ：肝臓 g・% (1000)	

	剖検	：肝臓の腫大(1000), 腎臓の表面点状模様明瞭化(200, 1000) ：肝臓の腫大(1000)
	病理組織	：肝臓の小葉中心性肝細胞肥大(1000), 腎臓の好酸性小体増加・硝子滴増加(40, 200, 1000), 腎臓の好塩基性尿細管(200, 1000, R1000) ：肝臓の核の大小不同を伴う小葉中心性肝細胞肥大(1000)
	標的臓器	肝臓, 腎臓
生殖発生毒性 主な結果	親動物	不妊動物 , 受精率 , 受胎率 (1000)
	児動物	：4 日体重 (傾向) (1000) ：4 日体重 (1000)
NOAEL		反復投与毒性： 1000, 1000 生殖発生毒性：200
	推定根拠	反復投与毒性 1000：毒性影響なし 1000：毒性影響なし 生殖発生毒性 親動物 1000：不妊動物 , 受精率 , 受胎率 児動物 1000：4 日体重
NOEL		反復投与毒性： 40 未満, 40 生殖発生毒性：200
	推定根拠	反復投与毒性 40：腎臓の好酸性小体増加・硝子滴増加 200：TP , Alb 生殖発生毒性 親動物 1000：不妊動物 , 受精率 , 受胎率 児動物 1000：4 日体重
備考		

本データは，平成 22 年度ハザードデータ評価委員会（独立行政法人製品評価技術基盤機構）で評価された。